

維新議員「アマ発言繰り返す

参院法務委

日本維新の会の梅村みずほ議員は16日の参院法務委員会で、名古屋入管でのスリランカ人ウィン・シュマ・サンダマリさんの死亡事件をめぐり、支援者をとどめた発言の根拠となる「事実はない」と認めながら、「反対の言はない」、トマ発言を再び繰り返しました。

梅村氏は2日の参院本会議で、「支援者の一言が、病気になれば仮釈放してもらえる」という淡い期待を抱かせ、医師から詐病（さびょう）の可能性を指摘される状況へつながった際も「認められない」と発言。事実に基づかないデマ発言に批判の声が上がつていました。

梅村氏は回収され、ウィシュー

マさんの弁護団から受け取ったされたる発言の根拠を聞う質問状に「事実はない」と認めながら、「可能性は否定できない」と繰り返しました。

ただ、ウィシュマさんの遺族が傍聴していたことは明らかだったと発言。一連の発言は公表資料と収容映像を視聴して「私の中で考えに至ったものだ」と説明しました。

同委員会で日本共産党的仁比聴平議員は、「遺族が遺影を持って傍聴されることには、事前の議院運営委員会の理事会で確認させていた」「事実あることは証拠に基づかない臆測の部分が極めて多く、心遺族の心情を改めて深く傷つける」と指摘。テーマ発言を繰り返す梅村氏の姿勢を厳しく批判しました。

維新議員「アマ発言繰り返す